



学校だより

令和3年10月29日

11月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校



「小さな一步の積み重ねが大きな成長につながる」

副校長 山田 太一

10月12日から後期がスタートしました。前期の振り返りをもとに前向きに新たな気持ちで学校生活を送ることができるとよいと思います。自分自身を成長させるには、目標が必要です。周りの人と比べるのではなく、以前の自分と比べてどう成長できたかを振り返り、新たな目標につなげることが大切です。

私は、昨年度まで担任をしていましたが、「努力することの大切さ」について山登りに例えて話していました。まず、ゴールとしてなりたい姿をもつようにしました。「頂上が高ければ、高いほど、そこから見える景色は素敵はず。だったら、最高の景色を見ようよ！」と励ましていました。次に、そのために「少しだけ背伸びをしたら届きそうなことを毎日積み重ねていこう」と投げかけました。

目標をもつと子どもたちは、頑張ります。しばらくは、順調に山を登ることができるのですが、必ずと言っていいほど、停滞する 때가きます。そのようなときは、次のように話していました。「うまく登れないときは、誰にでも来ます。山あり谷あり、前に進めないときもあります。そんなときはその場に踏みとどまっているだけでもいいよ。でも、だめだと思って登るのをあきらめたり、下り坂を滑っていったりしないようにしようね。」「一人で登れないときは、誰かが手をつないで一緒に登ってあげよう！一緒に登ってくれる友達を見つけようね。」何事もうまくいかないときは、努力することをやめてしまいそうになるものです。しかし、その時こそがチャンスととらえ、小さな一步を続けること、仲間を信じることを忘れないでほしいと思います。

野球のイチロー選手は、引退会見で次のように話していました。「人より頑張ることなんてとてもできないんですよね。(中略)自分の限界を見ながら、ちょっと越えていくということを繰り返していく。少しずつの積み重ねでしか自分を越えていけないと思うんですよね。一気に高みに行こうとすると、今の自分の状態とギャップがありすぎて、それは続けられないと僕は考えているので、地道に進むしかない。

(中略)自分がやると決めたことを信じてやっていく。でも、それは正解とは限りませんよね。間違ったことを続けてしまっていることもあるんですけど、でも、そうやって遠回りすることでは、本当の自分に出会えないというか、そんな気がします。」

大人は、子どもの応援団だと思います。頑張りを励ますことで、子どもは頑張りが続けられるのだと思います。ご家庭でも励ましの言葉をかけていただくと幸いです。家族みんなが「頂上からの最高の景色」を見られるとよいですね。